

【学校教育目標】 「自分とみんなのために 心を尽くし、学びを深め、ともに動く 大小っ子の育成」

【目指す児童像】 「気づく子 学ぶ子 元気な子」

大村市立大村小学校

学校だより

第16号

令和8年1月15日発行

文責：校長 堺 邦寿

玖城のほitori



★ 3学期がスタートしました！ 今年もよろしくお祈いします！ ★

少し遅くなってしまいましたが、明けましておめでとうございします。今年もよろしくお祈いします。ご家族で有意義な冬休みを過ごされたことと思ひます。登校途中の子どもたちに冬休みに楽しかったことを聞くと、家族で〇〇に行ったよ、やっぱりゲームかななど、それぞれに楽しい冬休みを過ごせたことを話してくれました。3学期がスタートして、今日で1週間となります。3学期、明日からの登校日数は、1～5年生は45日、6年生は41日です。本当に短い期間ですが、子どもたちが、次の学年に向けてしっかりと準備ができるよう、職員一同、力を尽くしてまいります。よろしくお祈いします。

始業式では、子どもたちに3学期に頑張っしてほしいことを3つ話しました。ここで、紹介します。

1つ目は、最高の卒業式の日・修了式の日を迎えるために、その時に、自分がどうなっているのかをしっかりと決めて、そうなるための努力をすることです。

この後の学級活動で、担任の先生と一緒に、どんな卒業の日・修了の日を迎えるのか、よくお話を聞いて、自分の3学期の目標や取り組むことを決めてください。3学期は、次の学年になるための準備の期間です。自分の目標に向かって一日一日を大切に過ごしましょう。

2つ目は、学校全体で、話の聞き方を、もっともっとよくするということです。

授業中、先生や友達が話している時、その人の方を向いて、その人の話を、目と、耳と、心で、聞くことができますか。話を聞くことは、すべての基本です。一人一人はもちろんですが、みんなができるようになりましょう。誰かが話を始めたら、していることをやめて、その人の方をさっと向いて、静かに、話が聞ける学級。素敵ですよ。

人の話を聞けるということは、その人のことを本気で大切にしているということです。目と耳と心で話を聞き、自分もみんなも大切にできる、素敵な大小っ子になりましょう。

3つ目は、2学期の続きになりますが、いつもお世話になっているおうちの人や地域の方々、先生たちへの感謝の気持ちをしっかりともち、感謝の心を表したり、伝えたりするということです。

2学期の最後の日に、みんなが安全に登校できるよう見守ってくださっているスクールガードの方々に感謝の言葉を伝えました。みんなから元気な挨拶や感謝の言葉をもらって、とてもうれしかったです、と大変喜んでおられました。また大村小学校の子どもたちはやさしい子どもたちばかりですね、と褒めていただきました。

これからも、お世話になった方に「ありがとうございます」を伝える心のやさしい人でいましょうね。

それでは、3月のゴールの日に、大小っ子全員が、みんなの前で、この一年の自分のがんばりを、胸を張って言えるように、今日からがんばりましょう。



～みんなちがって みんないい (その9)～

昨年は人権週間に合わせて12月にご紹介しましたが、今年度は新年最初のテーマとして「性の多様性」についてお話しさせていただきます。

4月に「様々な多様性を認め合い、尊重することの大切さ」についてお話ししました。日本人に限らず、この問題は世界共通の課題であり、国連が示すSDGs17項目の5番目の目標「ジェンダー平等を実現しよう」の内容になります。

諸外国の方が、理解が進んでいる部分もありますが、実情はどの国も似ています。ただ、日本は単一民族で社会と文化を築いてきたことや、「宗教・しきたり・文化」の影響もあり、「人種」や「性差」などの「違いや変化」を受け入れることが難しい国民性が有ると言えるかも知れません。

これからの国際社会を生きる子ども達を育てていくには、子どもだけでなく私たち大人も理解を深めていくことが重要です。

長崎県は2013年に「障害のある人もない人も共に生きる平和な長崎県づくり」条例を県議会で可決し、翌年4月から条例の施行が始まりました。この中で「差別の撤廃」「不均等待遇の改善」「合理的配慮の提供」を長崎県の取組として掲げています。(県のHPを是非ご覧ください)「性の多様性」への理解や上記待遇の改善もこの中には含まれています。

「LGBT」「性的マイノリティ(少数派)」と表現されることがありますが、正しく理解していただくために、少し説明させていただきます。

日本でもおよそ8%の方が性的マイノリティであるという調査結果が出ていますが、実際にはもっと多いと考えられます。マイノリティと聞くと「少ないだろう」「ほとんどいないだろう」と考える方が多いと思いますが、実は「偏見や差別を恐れてカミングアウトできず」にいる人がとても多いのです。

性的マイノリティは「性的志向(セクシャルオリエンテーション:Sexual Orientation)」と「性自認(ジェンダーアイデンティティ:Gender Identity)」の2つに大きく分けて考えられています。そのため、それぞれの頭文字を取って「SOGI」と表現されることもありますが、一般的には「LGBTQ」さらに詳しく「LGBTQIA」と表現されることが多く、これもそれぞれの頭文字を指しています。

簡単に説明すると、「性的志向」とは「恋愛対象の性がどちらか」ということであり、「性自認」とは「自分の心と身体の性をどのように捉えているか」ということになります。性的マイノリティの方は「心の性」と「身体の性」、「恋愛対象」がそれぞれ違っている、または一致していない方と言えます。詳しく説明します。

L…Lesbian(リーブィアン)

「心の性」「身体の性」ともに「女性」で、「恋愛対象」が「女性」の方です。

G…Gay(ゲイ)

「心の性」「身体の性」ともに「男性」で、「恋愛対象」が「男性」の方です。

B…Bisexual(バイセクシャル)

「心の性」「身体の性」ともに一致していて、恋愛対象が「男性女性」の両性の方です。

T…Transgender(トランスジェンダー)

「心の性」と「身体の性」が一致しておらず、「身体の性」に違和感をもっていらっしゃる方です。「心の性」に沿った生き方をしたいと思っている方が多く、そのため性適合手術を受ける方もいらっしゃいます。

Q…Questioning(クィスチョニング)

自分の「性」が分からない、意図的に決めていない、または決まっていない方です。

I…Intersex(インターセックス)

生まれつき男女両方の身体的特徴を持たれている方です。

A…Asexual(アセクシャル)

誰に対しても恋愛感情を抱かない方です。

長崎県では長崎市が2019年に「長崎市パートナーシップ宣誓制度」を開始、大村市も2023年に「大村市パートナーシップ宣誓制度」を開始し、2024年から時津町も開始され、多様なパートナーシップに対する支援を行っています。この制度は国の法律改正とは違うので、法律上の婚姻や相続、税制面などの法律上の効果はありませんが、様々なサービスや社会生活上の支障を軽減できるようサポートしていく取組です。2025年現在、データベースによると日本では541の自治体で実施されていて、人口カバー率は約93%です。100%達成できていない都道府県は全国で14道県、長崎県は3自治体のみと、とても達成率の低い自治体です。私たちの意識の変化が大切です。